

令和元年度行政評価 施策評価シート (平成30年度実績)

施策名 男女共同参画の実現に向けた社会づくり

施策コード 010202

1. 施策の担当	
主管課	市民協働部 人権推進課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第1章 市民と協働し、すべてのひとが輝くまちづくり (自律・協働)	節 第2節 男女共同参画
	施策	男女共同参画の実現に向けた社会づくり	

基本方針
 政策及び方針決定をはじめ、あらゆる分野において、性別にかかわらず人権が尊重され、男女それぞれの個性と能力を十分に発揮することができ、対等なパートナーとして参画できる社会の実現をめざします。

現況と課題
 ・女性が訪れる相談機関によるネットワーク化を図り、相互の業務内容の把握や情報交換を行い、相談者に対する適切な支援に努めていますが、さらに取り組みが必要です。
 ・市の政策及び方針決定の場への女性の参画率は府内でも低い状況であり、早急に目標値である40%を達成するため、さらに取り組みが必要です。
 ・男女共同参画社会実現のための拠点施設として、いずみさの女性センターを開設し、市民に向けた取り組みを実施していますが、さらに充実が必要です。

施策目標
 対象 (誰を、何を、どこを)
 市民及び社会

意図 (どのような状態にしたいのか)
 性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現。

3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度 (偏差値)	52.9						47.4
重要度 (偏差値)	34.9						41.4

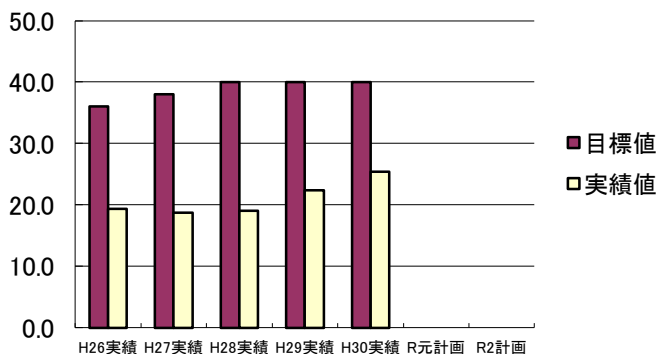
4. 施策にかかるコスト								
	単位	H29決算	H30決算					
コストの内訳	人件費	千円	6,427	6,882				
	事業費		214	169				
	フルコスト		6,641	7,051				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		0	0				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		6,641	7,051				
一般財源2 (=直接事業費-特定財源)	214	169						

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1 政策及び方針決定の場への女性の参画率							
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	36.0	38.0	40.0	40.0	40.0		
実績値	19.4	18.7	19.0	22.4	25.4		
達成度	53.89	49.21	47.5	56.0	63.5		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
女性の参画率により、その分野での男女共同参画社会に向けた社会環境づくりの推進度がわかります。		第2次いずみさの男女共同参画計画の目標値である40%達成に向けて年次的に目標値を設定した。			審議会等に関心の高い市民の女性 (なるべく複数人) の任用に努めているが、女性が参加しやすい社会としての体制が整っておらず、男女の意識変革が発展途上のため。また、審議会等委員は、いわゆる「あて職」での登用が多く、各種団体等の会長に女性が少ないことも要因と思われる。		

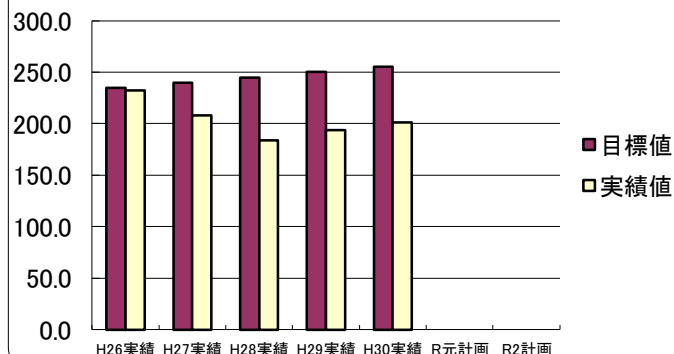
② 成果指標 2		女性に関する人権課題についての支援件数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	235.0	240.0	245.0	250.0	255.0		
実績値	232.0	208.0	184.0	194.0	201.0		
達成度	98.72	86.67	75.1	77.6	78.82		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
女性に関する人権課題の支援件数を把握することで、悩みや問題を抱える女性に対しての適切な対応、積極的なネットワークの活用が行えているかが分かる指標となるため。		平成30年頃まで増加傾向になると予測し、平成22年度実績をベースに、平成23年度を160件、以降5件ごとの増を見込んで目標を設定したが、大幅増により平成23年度実績に基づいて設定変更。平成23年度はDV対策事業（単年度）実施により件数増となったため、平成26年度実績より目標値の再見直しを行い、平成25年度実績ベースより年5件の増とした。			いずれ課題が減少することが、男女共同参画社会づくりの実現に近づいたと考えられるが、現在は意識改革に繋げる課題認識を周知する段階と捉え、当面は増加傾向になると予測。		

③ 成果指標 3		市民と協働で実施した講座・イベント等の参加者数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	110.0	500.0	500.0	500.0	500.0		
実績値	849.0	579.0	1,482.0	1,366.0	2,249.0		
達成度	771.82	115.8	296.4	273.2	449.8		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
男女共同参画社会を推進する上で、市民協働型での事業実施と市民ニーズの掘起こしが重要であるため、市民と協働で実施した講座・イベントの参加者数を指標とした。		平成23年度実績ベースより、毎年10名程度ずつの増加を見込み設定。平成27年度に見直しを行い、実績を踏まえて平成27年度より目標値を500人に変更した。			常に市民協働型での事業実施を意識して事業企画にあっている。H30年度は、前年度に引き続き「女性に対する暴力根絶運動」として実施した「パープルリボン活動」が「パープルリボン・オレンジリボン活動」となり大きな集客効果をあげた。		

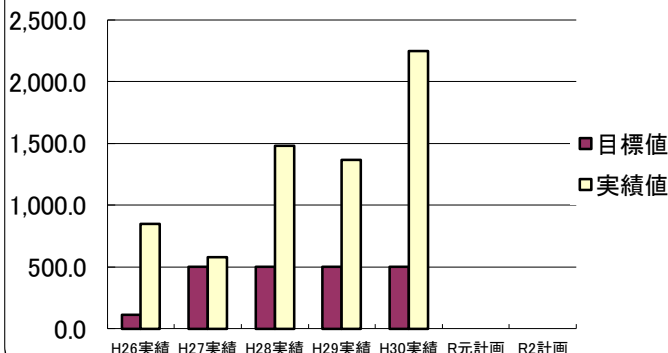
成果指標①



成果指標②



成果指標③



図表

6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	条例や規則に定めた審議会や委員会のみならず、市主催の実行委員会や協議会等への女性の参画率の推移について、周辺市や府ではデータは公表されていないので、本市における参画率のデータの希少性と有効性は今後も重要と思われる。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	政治・経済・防災・地域活動等のあらゆる分野において、女性の参画の拡大は本市においても喫緊の課題であり、数値目標を掲げて実行していくことが、市民ニーズにも表れになると考える。 H30市民アンケート満足度(偏差値)は47.4となり、H24調査時の52.9に比べ低下した。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	国の第四次男女共同参画基本計画及びDV防止法、府の男女共同参画推進条例、おおさか男女共同参画プラン、それらの法令等に掲げられている従来型の女性のための共同参画ではなく、男性や子どもにとっての男女共同参画の新たな展開が社会潮流となってきている。
	合計点	(10点中) 9点	
総合評価	A	引き続き男女共同参画社会基本法及び第2次いずみさの男女共同参画行動計画に基づき各種目標値の達成に努める。特に、審議会等への女性の参画率向上のため、委員に推薦できる女性人材の確保並びに審議会等の担当課への働きかけを強化する。	
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)	B	政策及び方針決定の場への女性の参画率の向上に努めること。	
三次評価(理事者による評価)	B	政策及び方針決定の場への女性の参画率の向上に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業						
事務事業			H30年度決算額			一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01007200	男女共同参画政策推進事業	6,882	169	169	A
合計			6,882	169	169	